

自社業況は消費増税前の水準まで回復するが、先行きに慎重な姿勢

国内景気に明るさ、景気の回復傾向続く



- 《国内景気》 今期の国内景気は大幅上昇。前回予想値よりもプラス幅拡大。
- 《自社業況》 今期の自社業況は大幅上昇。2014年の消費増税前の水準にまで改善。
- 《国内景気》 2018年1～3月期、続く4～6月期とも引き続きプラス推移。景気の回復傾向続く。
- 《自社業況》 2018年1～3月期は年末需要期の反動から下降するものの、続く4～6月期は再び上昇。人手不足、原材料価格の上昇等への懸念から、先行きに慎重な見方広がる。

今期、大企業、中小企業ともに上昇

- 大企業** : 2018年1～3月期は小幅ながら、引き続き上昇。続く4～6月期は下降に転じる。
- 中小企業** : 2018年1～3月期は下降に転じるものの、続く4～6月期は再び上昇に転じる。



《国内景気 BSI 値》 **18.1**

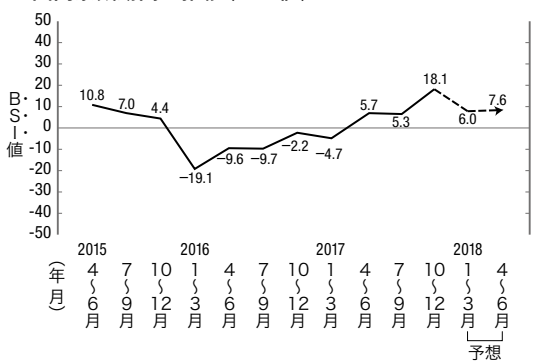
概要

《自社業況 BSI 値》 **12.8**

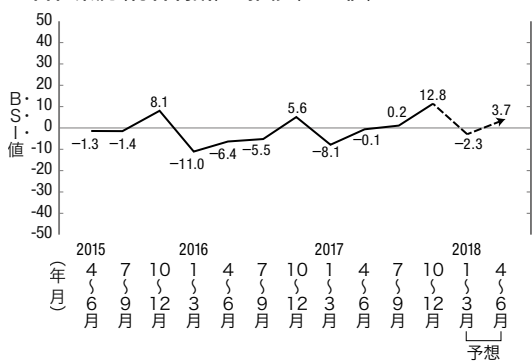
今期の国内景気 BSI 値は18.1(前期実績5.3)と大幅に上昇した。年末の需要期を迎える料理・飲食、旅館・ホテル、小売業など全ての業種で上昇し、前回予想値(10.9)よりも、上昇幅が拡大する結果となった。今後の2018年1～3月期は6.0と上昇幅は縮小するものの、堅調な個人消費に下支えられた料理・飲食などが引き続き景気を牽引し、プラスで推移する見込みとなっている。続く4～6月期は7.6と引き続きプラスで推移し、景気の回復傾向が続くと予想する。

今期の自社業況 BSI 値は12.8(前期実績0.2)と大幅に上昇した。国内景気同様、年末の需要期を迎える料理・飲食のほか、建築材料の需要増を追い風に鉄鋼が業況を牽引するなど、ほぼ全ての業種で業況がプラスで推移した。また、経常利益や製造業の受注残が増加するなどプラスの指標も出ており、自社業況は、2014年の消費増税前の水準にまで改善した。今後の2018年1～3月期は▲2.3と年末の需要期の反動から下降するものの、春の需要期を迎える4～6月期は3.7と再び上昇する見込みとなっている。しかしながら、人手不足、原材料価格の上昇等への懸念から、先行きについては、全体としては、慎重な見方が広がっている。

★ 国内景気動向の推移 (BSI 値)



★ 自社業況(総合判断)の推移 (BSI 値)



※ 自社業況(総合判断)は、「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したものの。

★ B.S.I. 値の総括表

		実績		予想	
		2017年7～9月期	2017年10～12月期	2018年4～6月期	2018年7～9月期
京都企業の経営動向	国内景気動向	5.3	18.1	6.0	7.6
	自社業況(総合判断)	0.2	12.8	▲ 2.3	3.7
	1 生産・売上高、工事施工高	1.2	14.5	▲ 5.5	2.3
	2 製・商品・サービス・請負価格	0.1	4.6	0.8	2.7
	3 経常利益	▲ 4.2	7.9	▲ 7.8	0.9
	4 所定外労働時間	▲ 2.0	11.2	▲ 1.0	0.7
	5 製・商品在庫	6.7	4.3	3.4	3.4
6 資金繰り	▲ 2.9	1.4	▲ 0.6	1.6	

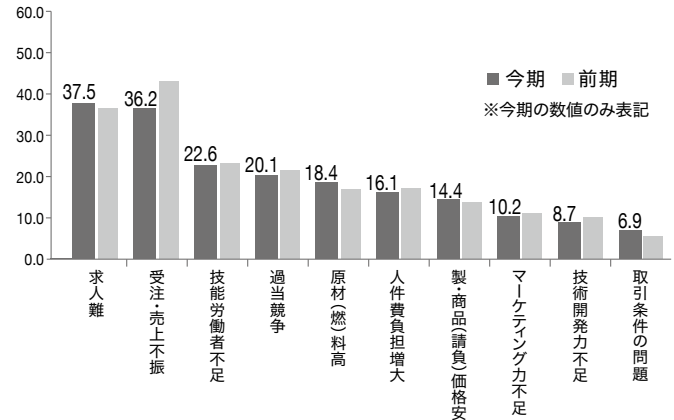
(注) 10～12月期の BSI 値は、2017年7～9月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

※ B.S.I. 値=(上昇[増加、他]-下降[減少、他])×1/2

(注) 11月中旬から下旬にかけて同調査を実施し、573社中403社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。

当面の経営上の問題点

第1位は「求人難」(37.5%)、第2位は「受注・売上不振」(36.2%)となり、前回の第1位と第2位が入れ替わる結果となった。第3位は「技能労働者不足」(22.6%)、第4位は「過当競争」(20.1%)となり、前回と同順位であった。第5位は「原材(燃)料高」(18.4%)、第6位は「人件費負担増大」(16.1%)となり、前回の第5位と第6位が入れ替わる結果となった。



(19項目より3項目以内回答、回答企業数%)

ピックアップ 調査結果のポイント

付帯調査 事業承継税制について

後継者が、非上場会社の株式等を先代経営者から贈与または相続により取得し、京都府の認定を受けた場合、本来納付すべき贈与税・相続税のうち、取得した非上場株式等^{*}に係る課税価額の全額(贈与税の場合)または80%に対応する額(相続税の場合)が納税猶予される。今回、「事業承継税制」の認知度等についての実態調査を行った。

(※発行済議決権株式総数の2/3が上限)

【事業承継税制の存在】

事業承継税制の存在について、「存在は知っているが、制度内容は知らない。」と回答した企業は207社(51.4%)、「制度内容を含め、知っている。」と回答した企業は98社(24.3%)、「全く知らない」と回答した企業は74社(18.4%)であった。

業種別で見ると、運輸・倉庫業(31.8%)、サービス業(25.0%)、小売業(21.4%)の2割以上が「全く知らない」と回答したのに対し、卸売業(5.6%)は1割を下回り、業種間で若干のバラツキが見られる結果となった。

(単位: %)

事業承継税制の存在	制度内容を含め、知っている	存在は知っているが、制度内容は知らない	全く知らない	未回答
総計	24.3	51.4	18.4	6.0
規模別				
大企業	19.8	48.3	19.8	12.1
中小企業	26.1	52.6	17.8	3.5
業種別				
製造業	27.1	50.0	18.6	4.3
卸売業	25.9	59.3	5.6	9.3
小売業	28.6	28.6	21.4	21.4
建設業	30.8	46.2	15.4	7.7
不動産業	38.5	46.2	15.4	0.0
運輸・倉庫業	13.6	50.0	31.8	4.5
サービス業	10.9	57.8	25.0	6.3

<事業承継税制の主な認定要件>

会社要件

- ・中小企業であること
- ・資産保有型会社、資産運用型会社、上場会社、風俗営業会社でないこと
- ・収入(営業外収益及び特別利益を除く)があること、正規従業員が1人以上いること
- ・正規従業員数(認定後5年平均)が、贈与・相続開始日時時点の8割を上回ること 等

先代経営者要件

- ・代表者であったこと
- ・同族関係者と合わせて過半数の株式を有し、その中で筆頭株主(後継者を除く)であったこと
- ・贈与日以降、代表者でないこと(贈与) 等

後継者要件

- ・贈与日以降、代表者であること(贈与)
- ・相続開始後5ヶ月目の日以降、代表者であること(相続)
- ・株式の受贈・相続によって贈与税・相続税の納付の必要があること
- ・贈与日・相続開始日以降で同族関係者と合わせて議決権の過半数の株式を有し、その中で筆頭株主であること
- ・贈与日時時点で20歳以上であり、贈与日まで続けて3年以上役員であったこと(贈与)
- ・相続の直前に役員であったこと(相続) 等

(単位: %)

【事業承継税制の改善すべき点】

事業承継税制の改善すべき点について、「納税免除要件の拡大」(25.9%)、「納税猶予割合100%への引き上げ」(14.1%)、「雇用要件の緩和」(12.9%)、「後継者の株式保有要件の緩和」(9.7%)、「後継者要件の緩和」(9.2%)、「対象株式数の上限(2/3)の撤廃」(7.6%)、「改善点はない」(7.2%)、「複数人への承継を可能とする」(5.1%)、「先代経営者要件の緩和」(4.2%)の順に多い結果となった。

事業承継税制の改善すべき点	納税免除要件の拡大	納税猶予割合100%への引き上げ	雇用要件の緩和	後継者の株式保有要件の緩和	後継者要件の緩和	対象株式数の上限(2/3)の撤廃	改善点はない	複数人への承継を可能とする	先代経営者要件の緩和	その他
総計	25.9	14.1	12.9	9.7	9.2	7.6	7.2	5.1	4.2	4.2
規模別										
大企業	21.2	13.5	18.3	3.8	11.5	2.9	15.4	4.8	2.9	5.8
中小企業	27.4	14.3	11.2	11.6	8.5	9.1	4.6	5.2	4.6	3.6
業種別										
製造業	27.4	13.7	12.0	9.4	9.8	7.7	7.7	3.8	4.7	3.8
卸売業	25.0	10.9	15.6	14.1	12.5	6.3	0.0	6.3	4.7	4.7
小売業	25.0	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3
建設業	23.7	21.1	13.2	13.2	7.9	13.2	2.6	5.3	0.0	0.0
不動産業	21.4	14.3	7.1	14.3	0.0	14.3	21.4	7.1	0.0	0.0
運輸・倉庫業	23.1	7.7	11.5	11.5	11.5	11.5	15.4	0.0	3.8	3.8
サービス業	24.4	15.6	15.6	2.2	4.4	2.2	11.1	11.1	4.4	8.9

お問合せ先

本所
中小企業経営支援センター
TEL:075-212-6467

調査結果概要は、本所ホームページからダウンロードできます。

京都商工会議所 BSI 値

